

今週（5月26日から5月30日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続きビッドサイドの資金調達ニーズが強く、レートは高値圏で推移する展開となった。加重平均レートは、26日(月)～29日(木)まで0.476%で推移し、月末を挟む3日積となった30日(金)も大きな変化はなく、概ね同水準での取引が中心となった。
ターム物に関しては、1～2W程度で0.477～0.60%近辺、1～3M程度で0.53～0.62%近辺で出会いが散見された。

日銀当座預金残高は、26日(月)の国債買入オペ、27日(火)の財政資金の支払いにより533兆円台前半まで増加したが、28日(水)以降は財政資金の揚げや国債発行要因による減少が見られた結果、30日(金)には532兆円程度での着地が見込まれる。

●レボ市場

今週のGC O/N物は、概ね0.465～0.505%程度の水準で推移した。
SC個別銘柄では、カレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、全ゾーンで小甘く推移した。
30日(金)に実施された3M物入札は、事前予想に比べ弱い結果となったものの、結果発表後のセカンダリーマーケットでは、堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP発行市場は、月末週の発行にあたり、幅広い業態が大型発行を実施した。
市場残高は、概ね23兆円台半ばで推移した。
発行レートについては、引き続き0.5%以上で推移しており、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レボレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
5/26 (月)	37,531.53	1.505	142.35	0.476	0.491	5,327,400
5/27 (火)	37,724.11	1.460	143.38	0.476	0.488	5,333,800
5/28 (水)	37,722.40	1.515	144.02	0.476	0.488	5,331,700
5/29 (木)	38,432.98	1.515	145.70	0.476	0.467	5,320,300
5/30 (金)	37,965.10	1.500	143.88	0.476	0.491	5,322,800

来週（6月2日から6月6日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
6/2 (月)	1-3月期の法人企業統計調査季報(財務省 8:50)				5月のISM製造業景況指数 4月の米建設支出
6/3 (火)	植田総裁 内外情勢調査会における講演 5月のマネタリーベース(日銀 8:50) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)		10Y 6/4発行 26,000億円		4月の米製造業新規受注・出荷・在庫 5月のユーロ圏消費者物価指数速報値
6/4 (水)	6月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)				5月のISM非製造業景況指数 米ページブック
6/5 (木)	4月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30)		30Y 6/6発行 8,000億円	交付税借入 6/13借入 11,000億円	ECB定例理事会 4月の米貿易収支
6/6 (金)	5月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 4月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 4月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)	TDB3M 6/9発行 44,000億円			5月の米雇用統計 4月の米消費者信用残高 1-3月期のユーロ圏GDP確報値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
6/2 (月) 日銀予想	300	▲ 36,700	▲ 36,400	社債買入 国債補完 成長基盤	▲ 100 700 ▲ 2,100		▲ 1,500	▲ 37,900	TB3M発行▲45,000償還45,000 2Y発行▲26,000償還14,000
6/3 (火) 弊社予想	1,700	▲ 19,000	▲ 17,300				0	▲ 17,300	機関貸元利回収 税揚げ前倒し
6/4 (水) 弊社予想	500	▲ 53,000	▲ 52,500				0	▲ 52,500	普通交付税払い 法人・消費税、年金保険料揚げ 10Y発行▲26,000 交付税借入▲11,000期日13,000
6/5 (木) 弊社予想	500	1,000	1,500				0	1,500	
6/6 (金) 弊社予想	900	▲ 8,000	▲ 7,100				0	▲ 7,100	30Y発行▲8,000
週間合計	3,900	▲ 115,700	▲ 111,800	—	▲ 1,500	0	▲ 1,500	▲ 113,300	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれる事から、0.477%近辺での出会いが中心になると予想される。債券レボGC T/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、0.47～0.505%程度の水準で推移することが予想される。短国市場は、6月3日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、月初発行にあたり、発行案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では、2日(月)に1-3月期の法人企業統計調査季報、3日(火)に植田総裁 内外情勢調査会における講演、5日(木)に4月の毎月勤労統計調査速報、海外では2日(月)に5月のISM製造業景況指数、3日(火)に5月のユーロ圏消費者物価指数速報値、4日(水)に5月のISM非製造業景況指数、米ページブック、5日(木)にECB定例理事会、6日(金)に5月の米雇用統計、1-3月期のユーロ圏GDP確報値の発表などが予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。